

# 母子健康手帳の改訂に関する研究

## 利用に関する基礎調査

石須 哲也 三重県保健衛生部長  
 坂本 弘 三重大学医学部教授  
 杉浦 静子 三重県立看護短期大学教授  
 門脇 由匡 三重県久居保健所長  
 渡辺 瑞代 三重県保健衛生部保健指導課長  
 安保 明子 三重県保健衛生部保健指導課

### はじめに

母子健康手帳は、妊娠・出産・育児に関する母と子の一貫した健康記録となるものであるばかりでなく、健康情報源としても役立つ、また保健指導の際にも重要な資料として利用されるものである。

母子健康手帳は、母子保健法第16条において妊娠の届出をした者に対し交付しなければならないことが規定されており、医師、保健婦、助産婦等に対しても局長通知により正確な記入が指示されている。昭和51年には、母子健康手帳がその機能を十分発揮することを期待して改訂が加えられた。

今回、母子健康手帳の改訂に向けて検討を行うにあたり、その利用状況を調査した。

調査の前に、利用状況をどのような側面からとらえるかについて、本県の研究委員会では以下のような議論がなされた。

すなわち；

- 1) 利用度を記入度とおきかえ得るか。
- 2) 記入してある事項を保健医療側がどう利用するかも利用度に入らないか。
- 3) 利用状況を踏えはするが、利用を促す施策による解決の側面からの検討もいるのではないか。

母子健康手帳の利用について書式改訂の検討のみならず手帳の機能そのものの検討をも含めて母子健康手帳の使い方はこうあるべきはないかの検討も進めなければならない。以上の考えをもとにして、既存の調査の整理を行ない欠けている調査を実施することにした。

既存の調査では、妊産婦ならびに乳幼児の母親の母子健康手帳の記入状況、ならびに活用状況については数件の文献が見られた。しかし、母子健康手帳を指導者側がどのように活用しているかの調査は見られなかった。

そこで今年度は母子保健指導者側に対してアンケート調査を行ない、その利用状況について検討することとした。

### 実施方法

1. 母子健康手帳の母親側の利用状況についての文献的考察；

昭和51年の母子健康手帳改訂前後の母親を対象とした調査報告6件について検討した。

調査対象とした報告は下記のものである。

- 1) 柴谷 聡子 他：母性衛生、13(1) 43 1972.
- 2) 石黒 トク子 他：母性衛生、13(2) 100 1972.
- 3) 板倉 千栄子 他：母性衛生、12(4) 220 1972.
- 4) 小林 文子 他：三重医学、19(4) 319 1976.
- 5) 金野 横子 他：母性衛生、20(2) 51 1979.
- 6) 山岡 美智 他：母性衛生、23(4) 58 1983.

2. 母子保健指導者側の母子健康手帳の利用の状況調査；  
 昭和58年10月の1ヶ月間に研修会に参加した市町村保健婦ならびに日本助産婦会の会員に調査を実施した。  
 方法は、表1に示した質問紙を研修会の席上で配布し、その場で記入させ直ちに回収した。回収率は100%であった。

研修会の参加者は全市町村保健婦91名中45名であり、日本助産婦会は会員73名中54名であった。

表1 (母子保健医療関係者の母子健康手帳活用調査)

経験年数( 年)

就業形態(次のいずれかに○をつけて下さい。)

病院 診療所 助産所

母子健康手帳は母子保健法第16条において妊娠の届出をした者に交付しなければならないことが規定されており、昭和41年10月21日付児発第688号における厚生省児童家庭局長通知により医師、保健婦、助産婦等の指導者側に正確な記入をすることを指導しております。又昭和51年6月には、母子の健康管理手帳としての機能が十分に発揮されることを期待して改訂がくわえられ、母親の記入すべき欄と指導者側の記入欄とを明確に区別するなど内容の充実をはかっております。今回のこの調査は、指導者側の母子健康手帳の活用状況を把握するためのアンケート調査です。よろしく御協力下さい。

質問1. あなたは母子の保健指導をする際、かならず母子健康手帳を持ってこさせていますか。

(次のうち一つだけ○をつけて下さい。)

1. かならず母子健康手帳を持ってこするように徹底している。
2. かならずしも持ってこするようには指示していない。

質問2. あなたは保健指導の際、母子健康手帳をみますか。

1. はい。
2. いいえ。

質問3. 別紙資料(母子健康手帳内容)1~22について以下の質問に該当する番号を3つまで記入して下さい。

質問事項	順位	妊婦、0才児の保健指導の際			1才以降の保健指導の際		
		第1位	第2位	第3位	第1位	第2位	第3位
1. あなたが母子健康手帳を、特に熱心に見る項目はどれですか。							
2. あなたがほとんど見えない項目							
3. 記入するときにあなたが特に熱を入れて記入する項目はどれか							
4. 書かなければならないが、ついでにあなたが書きそびれる項目はどれか							
5. あなたが使いにくいと思う項目							
6. 新たに入れてほしい事項(具体的に記入して下さい)							

3. 母子登録制度実施保健所管内から提出された母子健康手帳改訂への意見。

市町村役場へ妊娠届が行なわれる時点より母子全数登録を実施しているR4型保健所における過去5年間の研究過程において、母子健康手帳の改訂についての意見を聴取した内容を整理した。

実施成績

1. 母子健康手帳の母親側の利用状況について

表2・表3に昭和51年の母子健康手帳改訂前後の文献について、調査対象、方法、結果についてまとめた。改訂前の調査で、石黒らは岩手県内3市2町村で年齢18～40才の有意抽出の母子健康手帳所持者330名に手帳活用度について質問紙法で調査しているが、「手帳をしばしば読んでいる者」及び「2回以上資料として

利用した者」を活用者と定義すると、活用者はわずかに2.8.5%であったと報告している。また、小林らの調査によると、「妊婦自身の記録」「産後の母子経過」「新生児晚期」「乳

表b 属性別記入状況(文献No.6)

年	性	属性別	
		対象人数	記入率
年	年齢	20～24歳	63 59.5
		25～29	183 58.9
		30～	52 52.0
学	学歴	中学校	40 43.6
		高等学校	200 58.3
		短大以上	60 60.9
職	職業	あり	75 66.7
		なし	200 55.2
家	家族形態	核家族	191 59.6
		複合家族	103 55.7
一	般既往症	あり	111 54.0
		なし	182 56.1
出	産経験	あり	172 52.8
		なし	128 63.8
今	回の妊婦検査受診回数	10回以上	15.7 62.7
		9回以上	14.3 51.7
経	産婦の産科疾患の既往	あり	28 18.3
		なし	144 53.7
児	産後の低体重児出産経験	あり	28 54.3
		なし	144 52.7

表2 母子健康手帳記入状況(改定前)

文献項目No	1)	2)	3)	4)
調査対象	小平市S45年母親学級受講妊婦249名	岩手市内3市2町村で有意選択母子手帳所持者330名 年齢18～40才	千葉市内施設10ヶ所の産婦3～8Wの産婦300名(139)	乳児相談来所の母親299名
方法	貧血検査結果の記載状況の調査	手帳活用度を質問紙により調査(保健所を通じて配布)	質問紙郵送 回収率51.2%	保護者自身が記入する欄の記入率を点数化し得点数で評価
結果	<p>血色素量の記入有 47.8%</p> <p>記入無 52.2%</p>	<p>・しばしばよんでいるもの</p> <p>・2回以上資料として利用</p> <p>・その他</p> <p>活用者2.85%</p> <p>非活用者7.15%</p> <p>・交付時の説明有4.03%</p> <p>無53.5%</p> <p>○説明の有無は活用度に影響ない。</p> <p>○交付の時期と活用度も関係なし</p> <p>・母親の母子手帳への意見少ない。</p> <p>なくともよい→15%</p>	<p>手帳交付時の説明有8.6%</p> <p>無9.13%</p> <p>手帳の内容を読んだ</p> <p>96.7%</p> <p>読まない1.7%</p> <p>妊娠の記事記入4.56%</p> <p>妊婦自身の記録7.91%</p> <p>妊娠経過の欄8.89%</p> <p>検査計測7.60%</p>	<p>・妊婦自身の記録</p> <p>・産後の母体経過</p> <p>・新生児晚期</p> <p>・乳児期</p> <p>・予備</p> <p>5ページすべて記入6名</p> <p>全く記入なし109名</p> <p>母の学歴、年齢と記入得点は関連ない</p> <p>核家族に記入得点高い</p> <p>第1子は、それ以後より高い</p>

児期」「予備欄」の5欄の記入状況を乳児相談来所の母親299名の持参の母子健康手帳を調査した結果、5欄すべてに記入してあった者6名(2%)全く記入のなかった者109名(36.5%)であり、記入得点を家族背景でみると核家族の家庭の母親の記入得点は高く、又、第1子の母親も記入得点は高かったと報告している。

母子健康手帳改訂後では、山岡らが市中病院入院中の産婦300名について妊娠経過欄の記入状況について報告しているが、平均記入率は57.5%であり、属性別記入状況においては学歴が中学校卒業では高校以上卒に比べて有意に記入率が低かったと報告している。

2. 母子保健指導者側の母子健康手帳の利用状況ならびに改訂に関する意見

調査対象者の年齢構成は表4に示すように市町村保健婦は20才、30才代が多く、助産婦は60才代、70才代が多かった。

調査対象者の経験年数は表5に示すように、保健婦は19年未満が90%に対し、助産婦は20年以上が90%を占めている。これは先に示したように会員の年齢構成が非常に異なるためと思われる。この為、アンケート内容についての集計は画一的に同一にするのを

表3 母子健康手帳記入状況(改定後)

文献項目No	5)	6)
調査対象	産科外来受診妊婦166人	市立病院入院中の産婦300名
方法	質問紙法により記入	妊婦の記入すべき妊娠経過欄の記入をみた
結果	<p>母子手帳交付時の説明有0.1%</p> <p>無69.3%</p> <p>栄養欄読んだ8.7%</p> <p>母親学級受講者に栄養欄読んだものが多い。しかし活用については差がなかった。</p> <p>実践活動</p>	<p>表a</p> <p>表b</p> <p>参照</p>

表4 項目別記入状況(文献No.6)

項目	人数	記入率
身長・体重	228	76.0%
近親婚の有無	199	66.3
結婚年齢	230	78.7
一般既往症・手術	85	28.7
予防接種名、X線検査月日	28	9.3
近親者の高血圧・分娩異常	10	13.3
天の健否	220	13.3
夫の血液型	198	66.0
職業の有無	203	69.3
住居の種類	205	68.3
騒音	205	69.0
日当り	207	65.0
同居家族	195	65.3
この妊娠の初診日	196	67.0
最終月経開始日	201	57.7
胎動を感じた日	173	79.0
出産予定日	237	51.3
出産前後の居住地	151	17.3
出産前後の連絡先	142	15.0
入院の方法	135	44.7
所要時間	134	57.5
平均		

さけ、保健婦、助産婦の2つのグループに分けて集計した。

表4 調査対象者の職種別年齢構成

年齢	市町村保健婦	助産婦(日本助産師会会員)
20~	44人	0人
30~	32	0
40~	7	0
50~	8	13
60~	0	30
70~	0	30
計	91	73

表5 調査対象者の職種別経験年数

職種 経験年数	助産婦		市町村保健婦	
	人	%	人	%
N	54		45	
~4			16	35.6
5~9	1	1.8	17	37.8
10~14			4	8.9
15~19			2	4.4
20~24	1	1.8	1	2.2
25~29	4	7.4	0	
30~	39	72.2	1	2.2
NA	9	16.7	4	8.9

助産婦の就業形態は、表6に示すように、助産所が約52%を占めている。これは老令者が多い年齢構成によるものと思われる。

表6 助産婦就業形態

就業形態	人	%
病院	10	18.5
診療所	2	3.7
助産所	28	51.9
NA	14	25.9

質問1については、表7に示すように保健婦、助産婦共に95.6%、94.4%が保健指導をする際には、「かならず、母子健康手帳を持ってこさせている。」と回答しており、住民に対して母子健康手帳を意識づける点では、利用度がかなり高い。

表7 問1. 「あなたは母子の保健指導をする際、かならず母子健康手帳を持ってこさせていますか」についての職種別解答

AN { 1. かならず持ってくるよう徹底している。  
2. かならずしも持ってくるよう指示していない。

問	職種	助産婦		市町村保健婦	
		人	%	人	%
1	1	45	83.3	43	95.6
	2	7	13.0	1	2.2
	NA	2	3.7	1	2.2

質問2については、表8に示したように母子の保健指導をする際、保健婦は100%、助産婦は94.4%が母

子健康手帳を見ると回答しており、活用度は高い。

表8 問2. 「あなたは保健指導する際母子健康手帳を見ますか」についての職種別解答

AN { 1. はい。  
2. いいえ。

問	職種	助産婦		市町村保健婦	
		人	%	人	%
2	1	51	94.4	45	100.0
	2	1	1.9	0	0
	NA	2	3.7	0	0

質問3は、母子健康手帳の実際の活用状況に対する質問であり、別紙資料として表9のように記入すべき欄に①1~22の番号を付して示し、回答はその番号で行う方法をとった。

表9 母子健康手帳内容(アンケート解答No.)

No.	項目
1	子の保護者
2	出生届出済証明
3	妊婦の記事
4	妊婦の職業と環境
5	妊娠中の経過(1)
6	妊婦自身の記録(質問したいことの覚え書)
7	妊娠中の経過(2)
8	妊婦自身の記録(質問したいことの覚え書)
9	出産の状態
10	出産後の母体の経過
11	母親自身の記録(産後気がついたこと、変わったことメモ)
12	妊娠中と産後の歯の状態
13	妊娠中と産後の体重変化の記録
14	母親学級受講記録
15	保護者の記録(生後4週間まで)
16	早期新生児期(生後1週間以内)の経過
17	乳幼児身体発育曲線
18	保護者の記録(満1ヶ月頃)
19	健康診査
20	1才6ヶ月までの歯の状態
21	ツベルクリン反応とBCG接種
22	予備欄

回答はなるべく正確にもとめるために、保健指導の対象が妊婦あるいは0才児の場合と1才児以降の場合にわけて回答を求めた。

表10~19に職種別妊婦あるいは0才児と1才児以降別に①1~22項目の番号記入人数をまとめた。



< 妊婦あるいは0才児保健指導に際して >

表 14 問 3-5 「あなたが使いにくいと思う項目」

(保健婦)					(助産婦)								
No.	1位 人	2位 人	3位 人	得点	No.	1位 人	2位 人	3位 人	得点				
1	0	0	0		1	0	0	0					
2	0	0	0		2	0	0	0					
3	0	0	0		3	0	0	0					
4	0	1	22	0	2	0	0	0					
5	0	0	0		5	0	0	0					
6	0	0	0	1	22	1	0	0					
7	0	0	0		7	0	0	0					
8	1	22	0	0	3	0	0	0					
9	0	0	0		9	0	0	0					
10	0	0	0		10	0	0	0					
11	0	0	0	1	22	1	0	0					
12	1	22	1	22	1	22	1	22	1				
13	0	1	22	0	2	3	5.6	1	19	0	11		
14	1	22	0	0	3	0	0	1	19	1			
15	3	67	0	0	9	1	19	0	0	3			
16	0	1	22	0	2	0	0	0	0				
17	0	0	0		17	0	0	0					
18	1	22	0	0	3	0	0	0					
19	4	89	0	0	2	0	0	0					
20	1	22	1	22	0	5	16	2	37	0	16		
21	0	0	0		20	4	7.4	2	37	0	16		
22	1	22	0	2	4.4	5	5.6	1	19	2	3.1	10	
NA	31	189	39	36.7	40	28.1	NA	43	79.6	46	35.1	50	92.6

< 1才児以降の保健指導に際して >

表 16 問 3-2 「あなたがほとんど見ていない項目」

(保健婦)					(助産婦)										
No.	1位 人	2位 人	3位 人	得点	No.	1位 人	2位 人	3位 人	得点						
1	0	0	0		1	3	5.6	0	0	9					
2	0	1	22	0	2	2	1	19	3	5.6	1	19	10		
3	0	1	22	0	2	3	0	1	19	0	2				
4	3	6.7	0	2	4.4	11	4	2	5.6	0	1	19	10		
5	0	1	22	0	2	5	0	0	0						
6	0	1	22	0	2	6	1	19	2	3.7	0	7			
7	0	0	0		7	0	0	0							
8	0	2	4.4	3	6.7	7	8	0	0	0					
9	0	0	0		9	0	0	0							
10	0	2	4.4	0	4	10	0	0	0						
11	0	1	22	1	2.2	3	11	0	0	0					
12	6	13.3	3	6.7	4	8.9	28	12	1	19	6	31.1	2	3.7	17
13	0	4	8.9	2	4.4	10	13	0	1	1.9	5	9.3	7		
14	1	2.2	2	4.4	4	8.9	11	14	3	5.6	1	1.9	2	3.7	13
15	3	6.7	2	4.4	2	4.4	15	15	0	1	1.9	0	2		
16	0	0	0	1	1.9	0	2	16	0	0	1	1.9	0	2	
17	1	2.2	1	2.2	0	5	17	1	1.9	1	1.9	0	5		
18	0	0	1	2.2	1	18	0	0	1	1.9	1	1.9	3		
19	0	0	0		19	0	0	0							
20	7	15.6	1	2.2	2	4.4	25	20	1	1.9	1	1.9	0	5	
21	1	2.2	0	1	2.2	4	21	1	2.2	0	1	1.9	0	2	
22	5	11.1	5	11.1	0	25	22	0	1	1.9	2	3.1	4		
NA	9	20.0	8	17.8	9	20.0	NA	40	74.1	40	74.1	40	74.1		

< 1才児以降の保健指導に際して >

表 15 問 3-1 「あなたが母子健康手帳を特に熱心に見る項目はどれか」

(保健婦)					(助産婦)									
No.	1位 人	2位 人	3位 人	得点	No.	1位 人	2位 人	3位 人	得点					
1	1	2.2	0	0	3	1	2	3.7	0	0	6			
2	1	2.2	0	0	3	2	0	0	0	0				
3	0	0	0		3	0	1	1.9	0	2				
4	0	0	0		4	0	0	1	1.9	1				
5	1	2.2	10	2.2	1	2.2	24	5	2	3.7	1	1.9	0	8
6	0	0	0		6	0	0	0	0					
7	0	4	8.9	0	8	7	1	1.9	0	0	3			
8	0	0	1	2.2	1	8	0	0	0					
9	21	46.7	2	4.4	0	67	9	7	13.0	3	5.6	0	27	
10	0	0	0		10	0	0	0						
11	0	0	0		11	0	1	1.9	0	2				
12	0	0	0		12	0	0	0						
13	0	1	2.2	0	2	13	0	0	2	5.6	2			
14	0	0	0		14	0	0	0						
15	0	0	0		15	1	1.9	0	0	3				
16	0	2	4.4	0	4	16	1	1.9	0	4	7.4	7		
17	5	11.1	5	11.1	2	4.4	16	17	0	5	9.3	6	11.1	16
18	3	6.7	5	11.1	0	19	18	3	5.6	5	9.3	0	19	
19	0	7	15.6	1	2.2	15	19	2	3.7	2	3.7	2	3.7	12
20	0	2	4.4	2	4.4	6	20	1	1.9	5	9.3	3	5.6	16
21	0	3	6.7	0	6	21	2	3.7	0	2	3.1	8		
22	0	0	0		22	1	0	0						
NA	0	1	2.2	0	NA	31	57.4	31	57.4	34	63.0			

< 1才児以降の保健指導に際して >

表 17 問 3-3 「記入するときにあなたが特に熱を入れて記入する項目」

(保健婦)					(助産婦)									
No.	1位 人	2位 人	3位 人	得点	No.	1位 人	2位 人	3位 人	得点					
1	0	0	0		1	0	0	0						
2	0	0	0		2	0	0	0						
3	0	0	0		3	0	0	0						
4	0	0	0		4	0	0	0						
5	0	0	0		5	1	1.9	0	0	3				
6	0	0	0		6	0	0	0						
7	0	0	0		7	0	0	0						
8	0	0	0		8	0	0	0						
9	1	2.2	0	0	3	9	3	5.6	1	1.9	2	3.7	13	
10	0	0	0		10	0	3	5.6	1	1.9	7			
11	0	0	0		11	0	0	0						
12	0	0	0		12	0	0	0						
13	0	0	0		13	0	0	0						
14	0	1	3	0	2	14	0	0	0					
15	0	4	8.9	0	8	15	1	1.9	0	2	3.7	5		
16	0	0	0		16	1	1.9	4	7.4	0	11			
17	4	8.9	0	1	2.2	13	17	5	9.3	0	0	15		
18	3	6.7	0	0	9	18	0	1	1.9	0	2			
19	9	20.0	0	1	2.2	28	19	2	3.7	3	5.6	6	11.1	18
20	1	2.2	0	2	4.4	5	20	0	0	0				
21	0	0	1	2.2	1	21	0	0	0					
22	0	1	2.2	2	4.4	4	22	0	0	0				
NA	19	42.2	32	71.1	31	18.9	NA	42	77.8	42	77.8	42	77.8	

＜1才児以降の保健指導に際して＞

表 18 問3-4 「書かなければならないが、ついあなたが書きそびれる項目」

(保健婦)						(助産婦)									
No.	1位		2位		3位		得点	No.	1位		2位		3位		得点
	人	%	人	%	人	%			人	%	人	%	人	%	
1	0		0		0			1	0		0		0		
2	0		0		0			2	0		0		0		
3	1	22	1	22	0		5	3	0		0		0		
4	1	22	1	22	0		5	4	0		0		0		
5	0		0		0			5	0		0		1	19	1
6	0		0		0			6	0		0		0		
7	0		0		0			7	0		0		0		
8	0		0		0			8	0		0		0		
9	0		0		0			9	0		0		0		
10	1	22	0		0		3	10	1	19	0		0		3
11	0		0		0			11	0		0		0		
12	0		0		0			12	0		0		0		
13	0		0		0			13	0		0		0		
14	0		0		0			14	0		0		0		
15	0		0		0			15	0		0		0		
16	0		0		0			16	0		0		0		
17	0		1	22	0		2	17	0		0		0		
18	0		0		0			18	0		0		0		
19	1	22	0		1	22	4	19	0		1	19	0		2
20	3	67	0		1	22	10	20	2	37	0		0		6
21	0		0		0			21	0		2	27	0		4
22	3	67	1	22	1	22	12	22	0		0		0		
NA	34	75.6	39	86.7	42	93.3		NA	50	92.6	50	92.6	52	96.3	

この表から傾向をまとめることは比較的困難なため次のように得点化した。

すなわち、問3-1から問3-5の各問において、1位には3点、2位には2点、3位には1点の得点を与え、No.1~22の項目毎に得点を集計して得点の高い方から順に、1位、2位、3位の順位をつけた。

その結果を職種別、保健指導時期別にまとめた表20には妊婦あるいは0才児を対象とした場合を示してある。

表 20 問3「別紙資料(母子手帳内容)1~22について以下の質問に該当する番号を3つまで記入して下さい」  
についての職種別上位解答項目No.

		(妊婦および0才)		
問	職 種	1位	2位	3位
3-1	あなたが母子健康手帳を、特に熱心に見る項目はどれですか	保健婦 9	5	16
		助産婦 5	3	9
3-2	あなたがほとんど見ていない項目	保健婦 12	22	13
		助産婦 20	21	12
3-3	記入するときあなたに熱を入れて記入する項目はどれか	保健婦 19	17	15,16
		助産婦 9	7	16
3-4	書かなければならないが、ついあなたが書きそびれる項目はどれか	保健婦 14	4	3
		助産婦 10	19	13
3-5	あなたが使いにくいと思う項目	保健婦 19	15	12
		助産婦 20	13	12,21

※ 表中数値は表9に示した母子健康手帳記入項目No.である

すなわち、問3-1の「あなたが母子健康手帳を特に熱心に見る項目はどれですか」では妊婦あるいは0才児の保健指導の際には、「9. 出産の状況」「5. 妊娠中の経過(1)」が保健婦、助産婦ともに第1~3位の間にランクされており、それ以外に、保健婦は、「16. 早期、晩期新生児期の経過」をあげている。助産婦は、「3. 妊娠の記事」をあげている。

問3-2の「あなたがほとんど見ていない項目」では、両職種共にあまり見ていない項目は、「12. 妊娠中と産後の歯の状態」であった。

問3-3の「記入するときあなたが特に熱を入れて記入する項目」では、保健婦は、「19. 健康診査結果」および、「17. 乳幼児身体発育曲線」であり、助産婦では、「9. 出産の状況」ならびに「7. 妊娠中の経過(2)」であった。

問3-4の「書かなければならないが、ついあなたが書きそびれる項目」では、保健婦は、「14. 母親学級受講記録」「4. 妊婦の職業と環境」であり、助産婦では、「10. 出産後の母体の経過」および、「19. 健康診査結果」であった。

問3-5の「あなたが使いにくいと思う項目」では、保健婦は、「19. 健康診査結果」欄を書きにくいとしている。助産婦では、「20. 1才6ヶ月までの歯の状態」をあげている。

1才児以降を対象とした場合を表21に示した。

表 21 問3「別紙資料(母子手帳内容)1~22について以下の質問に該当する番号を3つまで記入して下さい」  
についての職種別上位解答項目No. (1才児以降)

問	職 種	1位	2位	3位
3-1	あなたが母子健康手帳を、特に熱心に見る項目はどれですか	保健婦 9	17	5
		助産婦 9	18	17,20
3-2	あなたがほとんど見ていない項目	保健婦 12	20,22	15
		助産婦 12	14	2,4
3-3	記入するときあなたに熱を入れて記入する項目はどれか	保健婦 19	17	18
		助産婦 19	17	9
3-4	書かなければならないが、ついあなたが書きそびれる項目はどれか	保健婦 22	20	3,4
		助産婦 20	21	10
3-5	あなたが使いにくいと思う項目	保健婦 19	20	12
		助産婦 21	20	13,22

※ 表中数値は表9に示した母子健康手帳記入項目No.である

＜1才児以降の保健指導に際して＞

表 19 問3-5 「あなたが使いにくいと思う項目」

(保健婦)						(助産婦)									
No.	1位		2位		3位		得点	No.	1位		2位		3位		得点
	人	%	人	%	人	%			人	%	人	%	人	%	
1	0		0		0			1							
2	0		0		0			2							
3	0		0		0			3							
4	0		0		0			4							
5	0		0		0			5							
6	0		0		0			6							
7	0		0		0			7							
8	0		0		0			8							
9	0		0		0			9							
10	0		0		0			10							
11	0		0		0			11							
12	1	22	1	22	0		5	12							
13	0		0		0			13			1	19			2
14	1	22	0		0		3	14	0		1	19	1		
15	0		0		0			15	0						
16	0		0		0			16	0						
17	0		0		0			17	0						
18	0		0		0			18	0						
19	4	81	0		0		12	19	0						
20	2	44	0		0		6	20			3	56			6
21	0		1	22	0		2	21	3	56	0				9
22	1	22	0		0		3	22	0		0		2	31	2
NA	35	77.8	37	82.2	41	91.1		NA	50	92.6	50	92.6	51	92.4	

すなわち、問3-1の「あなたが母子健康手帳を特に熱心に見る項目はどれですか」では、保健婦、助産婦共に、「9. 出産の状況」「17. 乳幼児身体発育曲線」をあげている。

問3-2の「あなたがほとんど見ていない項目」では、両職種とも「12. 妊娠中と産後の歯の状態」を第1にあげている。

問3-3の「記入するときあなたが特に熱を入れて記入する項目」では、両職種共に、「19. 健康診査結果」および、「17. 乳幼児身体発育曲線」がそれぞれ第1位、第2位にランクづけされている。

問3-4の「書かなければならないが、ついあなたが書きそびれる項目」では、保健婦は、「22. 予備欄」および「20. 1才6ヶ月までの歯の状態」、助産婦は「21. 予防接種の記録欄」をあげている。

問3-5の「あなたが使いにくいと思う項目」では、保健婦は「19. 健康診査結果」欄を書きにくいとしており、助産婦は「20. 1才6ヶ月までの歯の状態」および「21. 予防接種の記録欄」をあげている。

問3-3、問3-4、問3-5については保健婦や助産婦が母子健康手帳に記入する際の状況を聞いているのであるが、この回答結果をみると保護者や妊婦が記入すべき欄と、保健婦や助産婦が記入すべき欄との混乱がみられる。すなわち問3-3の「記入する時あなたが特に熱を入れて記入する項目」で、両職種が上位にランクしている「17. 乳幼児身体発育曲線」、「13. 妊娠中と産後の体重変化」、「15. 保護者の記録」ならびに、問3-4の「書かなければならないが、ついあなたが書きそびれる項目」で、保健婦が上位にランクしている「3. 妊婦の記事」、「4. 妊婦の職業と環境」等は、保護者ならびに妊婦自身の記入欄であるが、自分達が記入しなければならないとの前提に立って回答している。

問3-6の「新たに入れてほしい項目（具体的に記入してください）」に対しては、表22に示すような意見が書かれていた。しかし、研究委員会での検討の結果、カサプ指数の記入欄のみ意見として採用した。

3. 母子登録制度実施保健所管内から提出された母子健康手帳改訂への意見

県内のR<sub>1</sub>型保健所管内では昭和54年6月1日より市町村役場で妊娠届出時点において母・児健康管理カードを作成し、保健所ならびに管内医療機関等専門機関との連携をとり、全数健康管理システムを実施している。これらの実践を介してスタッフから提出された母子健康手帳への改訂意見を表23に示した。

この中で研究委員会の検討により

- ① 妊婦の記事（本人が最近のんだ薬の記入欄）
- ② 今までの妊娠（既応出産児の病歴）
- ③ 家族について（健康状態の記入欄）

の項目を採用した。

## 結果

1. 保健指導の際には、保健婦、助産婦共に約95%が「かならず、母子健康手帳を持ってこさせている」と回答しており、住民に対する意識づけの点では利用度は高い。
2. 保健指導の際、保健婦は100%、助産婦も95%が母

子健康手帳を見ており、利用度は高い。

3. 保健婦や助産婦が、「特に熱心に母子健康手帳を見る項目」は、「出産の状況」と「妊娠中の経過」であり、それ以外では、保健婦は「新生児の経過」、助産婦は、「妊娠の記事」と分かれており、保健婦は関心が児へ、助産婦は妊産婦へと向く傾向を示している。1才児以降では両職種ともに「身体発育」に関心を示している。

表22 新たに入れてほしい項目

<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦乳児診査券発行済の記載欄（現在②スタンプを押しているが、するとそれ以外の事にページが使えない現状）</li> <li>・アプガー指数・仮死の有無</li> <li>・妊娠初期の状況</li> <li>・月令、年令にあった保健指導を入れてほしい（ex離乳食、歯科保健、日常生活リズムetc.）</li> <li>・予防接種について（問診票）</li> <li>・離乳状況について</li> <li>・感染症について</li> <li>◎カサプ指数の記入欄がほしい</li> <li>・発達チェック欄がほしい</li> <li>・健康相談、育児相談の記録が書けるページ</li> <li>・母乳奨励についての説明</li> <li>・妊娠経過、子宮底、腹囲の次へ胎位を!!</li> </ul>
---

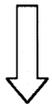
表23 心身障害児母子システム研究実施保健所保健婦意見

1	妊婦の記事（本人について） ……………のんだ薬
2	今迄の妊娠……………既応出産児 の病歴、そうは
3	妊婦の環境……………動機の内容 夫の職業 妊娠してから状況……………いつ から仕事を休むか 住宅環境……………借屋、商、団 住込
4	家族について……………氏名、生 年月日、職業、健康状態 乳幼児期の所見について…………… 環境（母子関係含む）

4. 「ほとんど見ていない項目」では、両職種とも「妊娠中と産後の歯の状態」と「1才半までの歯の状態」をあげており、母子一貫して歯への関心が低いことがうかがわれる。
5. 「熱心に記入する項目」では、保健婦は妊婦から1才児以降まで一貫して「健康診査結果」および「乳幼児身体発育曲線」をあげており、助産婦では「出産の状況」、「妊娠中の経過(2)」と分娩にまつわる記入をあげており、1才児以降では保健婦と同様の項目である。
6. 「書かなければならないが、つい書きそびれる項目」では、保健婦は、「母親学級受講記録」と「1才半までの歯の状態」をあげており、助産婦は、「出生後の母体の経過」、「健康診査結果」、「1才半までの歯の状態」をあげており、歯については記入もおろそかにされている様子が見られる。
7. 「使いにくい項目」では、保健婦は、特に熱心に記入する項目と答えた「健康診査結果」欄を書きにくいと指摘し、助産婦は、見ることに記入についてもあまり関心を示さなかった「1才半までの歯の状態」欄を書きにくいと指摘している。
8. 「熱心に記入する項目」、「書かなければならないがつい書きそびれる項目」に記入された回答をみると、保健婦や助産婦が指導者の記入すべき欄とを明確に意識せず、その混乱がみられる。  
これを明確化し、保護者や妊産婦自身が記入するよう指導することが必要と思われる。
9. また、現場の保健婦、助産婦の提案を基に研究委員

会において、下記記入事項を母子健康手帳へもり込むことが検討要望された。

- 1) 発育発達の頁へカーブ指数の記入が出来るような発育曲線のグラフを別途に入れる。
- 2) 家族構成の頁へ、家族の健康状態の記入欄を設ける。
- 3) 妊婦の頁へ既応出産児の病歴、および最近飲んだ薬の記入欄を設ける。



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



はじめに

母子健康手帳は、妊娠・出産・育児に関する母と子の一貫した健康記録となるものであるばかりでなく、健康情報源としても役立ち、また保健指導の際にも重要な資料として利用されるものである。

母子健康手帳は、母子保健法第 16 条において妊娠の届出をした者に対し交付しなければならないことが規定されており、医師、保健婦、助産婦等に対しても局長通知により正確な記入が指示されている。昭和 51 年には、母子健康手帳がその機能を十分発揮すること、を期待して改訂が加えられた。

今回、母子健康手帳の改訂に向けて検討を行うにあたり、その利用状況を調査した。

調査の前に、利用状況をどういう側面からとらえるかについて、本県の研究委員会では以下のような議論がなされた。

すなわち；

1)利用度を記入度とおきかえ得るか。

2)記入してある事項を保健医療側がどう利用するかも利用度に入らないか。

3)利用状況を踏えはするが、利用を促す施策による解決の側面からの検討もいるのではないか。母子健康手帳の利用について書式改訂の検討のみならず手帳の機能そのものの検討をも含めて母子健康手帳の使い方はこうあるべきはないかとの検討も進めなければならぬ。以上の考えをもとにして、既存の調査の整理を行ない欠けている調査を実施することにした。

既存の調査では、妊産婦ならびに乳幼児の母親の母子健康手帳の記入状況、ならびに活用状況については数件の文献が見られた。しかし、母子健康手帳を指導者側がどのように活用しているかの調査は見られなかった。

そこで今年度は母子保健指導者側に対してアンケート調査を行ない、その利用状況について検討することとした。